

平成 30 年 9 月 3 日 (月)
愛知県立大学戦略企画・広報室
担当：藤本
電話：0561-76-8636

愛知県立大学看護学部共催事業

国際津波防災学会第 2 回都市共生防災分科会合シンポジウム

「都市共生の視点から津波防災を考える」の取材依頼について

国際津波防災学会は、公益財団法人国際科学振興財団を母体とし、津波防災にかかわる学際的・国際的な研究の発展を図り、津波から人々の生命と財産を守る防災・減災に貢献することを目的として 2017 年 11 月に設立された学会です。

このたび地域の年少者、傷病者、障がい者、高齢者、外国人といった災害弱者対策の現状と課題について都市共生の視点から議論し、今後の対策に活かすことを目的としたシンポジウムを下記のとおり開催いたします。各領域の対策の最前線で活動している方々に現状をお話いただき、会場を交えたパネルディスカッションで議論を深めていきます。ぜひご取材ください。

日 時	9 月 29 日 (土) 13:00~17:00 (受付 12:00~)
会 場	愛知県立大学守山キャンパス (名古屋市守山区上志段味東谷) (JR 中央線「高蔵寺」駅下車 徒歩 20 分、学内駐車場あり)
講演内容	<p>13:00-13:20 オープニングレクチャー (開会の辞) 「津波防災における都市共生の課題と展望」 戎崎俊一 (学会総務財務担当役員、理化学研究所・主任研究員)</p> <p>○シンポジウム</p> <p>13:20-13:40 津波浸水エリアの保育園・幼稚園の避難対策の考え方 清水宣明 (愛知県立大学看護学部・教授、司会)</p> <p>13:40-14:00 災害拠点病院から見た地域傷病者の津波対策の現状と課題 青木悦子 (伊勢赤十字病院・防災担当副看護部長)</p> <p>14:00-14:20 大規模地震災害に備えた外国人への対策と課題 泉川雅子 (豊田市役所経営戦略部国際まちづくり推進課・担当長)</p> <p>14:20-14:40 津波災害に備えて -浸水エリアにある事業所の場合- 渡邊吉之 (MHI プラントエンジニアリング&コンストラクション(株)・主幹)</p> <p>14:40-15:00 津波避難の現状「津波てんでんこ」への提言 江頭満正 (尚美学園大学総合政策学部・准教授)</p> <p>15:20-16:40 パネルディスカッション -災害弱者 その時、何が問題なのか?-</p> <p>16:40-17:00 クロージングレクチャー (閉会の辞) 「大学としての防災教育と地域貢献」 柳澤理子 (愛知県立大学看護学部・教授、学部長)</p>
担 当・ 問い合わせ	看護学部看護学科教授・清水宣明 (当該分科会合 東海地区幹事) E-mail sympo-tsunami@nrs.aichi-pu.ac.jp



国際津波防災学会



第2回都市共生防災分科会合

シンポジウム

都市共生の視点から津波災害対策を考える

2018年 9月29日(土) 13:00~17:00 (受付:12:00~)

愛知県立大学守山キャンパス
(名古屋市守山区上志段味東谷)

オープニングレクチャー 戒崎俊一 (学会総務財務担当役員、理化学研究所・主任研究員)

津波防災における都市共生の課題と展望

1. 清水宣明 (愛知県立大学看護学部・教授、司会)

津波浸水エリアの保育園・幼稚園の避難対策の考え方

2. 青木悦子 (伊勢赤十字病院・防災担当副看護部長)

災害拠点病院から見た地域傷病者の津波対策の現状と課題

3. 泉川雅子 (豊田市役所経営戦略部国際まちづくり推進課・担当長)

大規模地震災害に備えた外国人への対策と課題

4. 渡邊吉之 (MHIプラントエンジニアリング & コンストラクション(株)・主幹)

津波災害に備えて - 浸水想定エリアの事業所の場合 -

5. 江頭満正 (尚美学園大学総合政策学部・准教授)

津波避難の現状「津波てんでんこ」への提言

パネルディスカッション **災害弱者 その時、何が問題なのか？**

クロージングレクチャー 柳澤理子 (愛知県立大学看護学部長)

大学としての防災教育と地域貢献

参加申込み

参加費: 2,000円 (当日支払い)

学会員(手続中・当日入会を含む) 無料

定員: 350人(先着順)

懇親会: 1,000円

氏名(ふりがな), 所属先, 学会員および懇親会参加の有無を明記の上, 返信可能なメールで下記にお申込みください。

sympo-tsunami@nrs.aichi-pu.ac.jp

申込み締切: 9月7日(金) (定員になり次第, 受付終了)

共催: 愛知県立大学看護学部

後援: 愛知県

